

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
85	明星大学	経済史入門2	児島 秀樹 経済学部 教授	2	後期	月	15	10:45～12:15	明星大学 日野キャンパス	若干名

#### 【到達目標】

- 最低限の目標は世界史の知識を常識程度に修得すること。
- 課題や試験にまじめに取り組む姿勢を身につけて、経済史の理解を深める。
- 国語辞典と地図帳を常に参考にして、言葉の意味と地理的感性を育てる。
- 経済社会の諸問題を世界的視野や時間的変化で捉えて、多様な世界が理解できるようになる。
- 他者への敬意と共感を身につけて、協働できる感性を磨く。

#### 【授業の概要】

講義はヨーロッパの事例が中心になるが、高校の世界史の復習をかねて、世界各地の歴史をとりあげる。経済史入門2では1601年以降の近現代の経済史を扱う。経済史の授業は、歴史の中でも、衣食住の生産・流通にかかわる人間関係の変遷を取り上げる。明星LMSを活用して、予習・復習を行う。

#### 【授業内容】

- |                                      |                                |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 近現代の経済史鳥瞰図                        | 9. 消費の現場:大衆の保護より消費者への安値還元      |
| 2. 工学と改良:農業生産力の増大と機械の登場              | 10. 帝国主義時代の経営:ニューディールとミッキー・マウス |
| 3. 家族と所有権:近代家族の成立                    | 11. 公益事業と公共事業:鉄道、運河、電信         |
| 4. 特権・規制から自由・競争へ:商人親方が組織した工業生産       | 12. 中央銀行制度:地方銀行から唯一の発券銀行       |
| 5. 重商主義政策と公益事業:名望家の企画力が生み出した有料道路     | 13. 帝国主義と国際貿易:ラッフルズのシンガポール等    |
| 6. 近代の貨幣制度:国債と銀行券の仲睦まじい関係            | 14. グローバル経済を理解する               |
| 7. 近代国際商業の展開:優雅な紅茶文化とアメーjing・グレースの砂糖 | 15. 近現代経済史のまとめ                 |
| 8. 現代の大量生産方式:T型フォード                  |                                |

#### 【成績評価方法】

成績評価は学期末の試験が50%。毎週の小テスト、課題レポート、読書レポートを合算して50%。詳細は授業初日に説明する。総じて、勉学の意欲があり、実際に努力できる人を評価する。

#### 【教科書、参考書、教材等】

教科書:経済史の種II/児島秀樹(学文社)/1,800円  
授業の板書用の経済史入門の講義ノートはWEB上で公開している。  
その利用法は授業で指示する。

※ この授業は、9/14(月)が初回です。